

PE 登録されるということは、たとえ市民権がなくともその州の一員となることである

連載第5回は、PE 制度発祥の地ワイオミング州 (WY) です。



Board of Registration for
Professional Engineers and
Professional Land Surveyors
David Whitman, P.E.
President

Dr. David Whitman, PE

1. 今年のNCEES 会長はワイオミング州ボード会長が兼務



1907年に全米で最初にPE 制度を生んだ州として有名なワイオミング州ですが、今年はこの州のボードPresident であるDavid Whitman, PE がNCEES (全米PE/LS 試験協議会) のPresident としての任にも就かれている。NCEES ホームページによればWhitman 会長はワイオミング大学の電気工学教授。石油工学、鉱山学にも通じているとあります。

← PE第1号 Charles Bellamy氏のライセンス証

2. 人口比PE 数は全米随一?

ワイオミング州の人口は約50 万人と非常に少ないですが、PE 登録者数は5000 人超ということなので、PE 数/人口比 = 1/100 となります。この値は例えばオレゴン州 14000 人/500 万人 = 1/350 カリフォルニア州 80000 人/3000万人 = 1/375 等と比べると大きいといえます。人口は少ないものの大きな炭坑や油田を抱えていることが多くのエンジニアを全米から集めているのかもしれませんが。またイエローストーン国立公園など自然観光資源に恵まれたワイオミング州は年間観光客数が600 万人ということです。

(PE Magazine 2007/6 号 および Wikipedia による)

3. 日本人のワイオミング州PE 登録は困難か

(<http://engineersandsurveyors.state.wy.us/documents/RulesandRegulations.pdf>) ワイオミング州のPE法・規則を通読してみました。この結果同州のPE 登録には次のような特徴があることが読み

取れました。

- **PE 登録には米国市民あるいは登録された移民であることが必要**。lawful presence の提示を求められるので日本居住のまま登録することは困難か(Chap4 Section1(a) (v))
- **リファレンスは3人の監督PE** を得ることが必要(Chap4 Section1(a) (iii))
- 受験登録の場合は大学卒業後4年の業務経験でOK。コミティ登録の場合はFE 取得後4年の業務経験が必要。なおABET 適合大学卒で20年の業務経験があれば要請すればFE 受験を免除される (Section7(c))
- PE スタンプはカウボーイのデザイン (Chap5 Section2 (a))
- 継続教育ユニットはCPC (Continuing Professional Competency)と呼ばれ**2年間で30CPC が必要**である(Chap9 Section5) ただしPE 登録後最初の2年間はCPC 免除である (Chap9 Section9 (a))
- 改正州法案では **試験を受けた以外の分野についてもPE は十分な経験があれば実務を行って良い**との規定が提案されている (Chap4 Section5 (c)) これは例えばMechanical のPE 試験を受けてPE になった人が実務の中でElectrical にも十分な知識と経験を積んだとすればElectrical のPE 試験を受けなくともElectrical engineering の業務を請け負って良いということである。鉱山や炭坑などの現場では専門分野をまたいだエンジニアリング業務が多いという実状に配慮した規定なのであろうか。
- 改正州法案では ABET 適合審査としてNCEES-CE がやはり盛り込まれつつある (Chap4 Section6 (b))

4. ABET 不適合大学の温床だった側面も

Wikipedia のワイオミング州解説を読んでいくと、かつてワイオミング州はdiploma mill(学歴乱造校)の温床だったこともあり、その対策法が2006年に成立したということです。最近各州でのPE 登録の際、卒業大学のABET 適合が厳格に評価されるようになってきていますが、その背景にはこうしたdiploma mill の存在があります。ABET 適合が必要以上に厳格適用されないようにするためにも、NCEES 会長を輩出したワイオミング州の活動をわれわれ日本人PE としても応援していきたいものです。

次回はNCEES 所在地、サウスカロライナ州を取り上げる予定です。